

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果について、運営に関する計画の資料と説明から、幼稚園での取組について、100周年記念の節目の年であり、1年を通して、様々なことに一生懸命に取り組み、子どもも、保護者、地域と共に100周年を祝いながら、普段の教育もしっかりと行われていた。その中で、子どもたちが育っていることが感じられた。達成状況については、保護者アンケートで肯定的な意見はほぼ100%だが、思うの割合が低いとすることすべて、Bとなっているが、謙虚に捉えているためだと思う。7割程度の保護者が思うと答えており、すべてにおいて、達成している状況なので、すべて「A」と考えられる。幼稚園の教育に対して、肯定的に捉えていることが分かるので、「A」に変更するとよい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、避難訓練、保育の中や保護者、区役所等による安全指導、保健指導などにより、生活の中で安全に対する意識を高め、自分の生活や命を守るために行動力を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、集団生活の中で自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりして、互いを認め合い、安心して過ごせるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、異年齢の友達や周りの人に進んで関わりを深め、思いやりの気持ちが育つように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- ・達成状況については、Bではなく、「A」に変更で承認された。
- ・3、4、5歳児の子どもたちがそれぞれの発達段階に合わせて、育っていることが、様々な行事を通して、感じられている。地域の方も幼稚園を大事に思い、子どもたちを支えている。異年齢や周りの人との関わりを通して、育ちが感じられる。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、考えたり工夫したりして遊ぶ中で、多様な経験や感情体験を通して満足感や達成感を感じられるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、遊びの環境づくりや栽培活動に努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、保健指導やほけんだよりなどにより、自分の健康に関心をもち、基本的な生活習慣を身につけるように努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- ・達成状況については、Bではなく、「A」に変更で承認された。
- ・幼稚園の活動について、普段からよく頑張っているので、子どもたちがのびのびと育っている。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 令和6年度末の長時間勤務時間において、教員の累計平均時間数を令和5年度より減らす。
- 保護者アンケート調査で「幼稚園は、幼稚園だよりやほけんだより、クラス・園長室だより、HP・貼り出しなどにより、情報発信に努めていますか」という関連項目において肯定的な回答をする割合を90%以上にする。
- ・達成状況については、Bではなく、「A」に変更で承認された。
- ・長時間勤務については、大事なことは残して、時代に合わせて検討しながら、効率や共有について縮小化を考えていく必要がある。
- ・忙しさもあり、手紙を読むということは難しくなっているが、写真を使って子どもの具体的な姿を伝えたり、視覚的なことを使って分かりやすく伝えていくことが大切である。

3 今後の学校園の運営についての意見

園児数が減少しているが、公立幼稚園として子どもたちが育つように教育を進めているので、このまま、子どもたちをのびのびと育つように教育を進めてほしい。100周年の事業を通して、子どもたちも保護者も楽しめる一年であったと思う。